

## 人力車による温泉街巡りを実施

草津温泉旅館(協)

7月29日、草津町・湯畑前において、夏季限定で運行する人力車の出発式を開いた。

人力車による温泉街巡りは、15の組合員が所属する「和風村」という組織が中心となり、地域おこしの一環として始め、20年以上続いているイベント。毎年、この時期に、神奈川県から車夫を招き、湯畑や西の川原通りなどを巡り、温泉街の見どころを紹介している。

今年も人力車による温泉巡りを多くの観光客に楽しんでもらった。



出発式に出席した車夫の方々

## 組合コンサルタント事業を活用

館林広域再生資源事業(協)

8月7日、館林市・館林市文化会館において、「中小企業組合制度と組合の運営・管理」に関する講習会を実施した。この講習会は、本会の組合コンサルタント事業を活用し、本会・八木連携推進課長が講師を務めた。

組合では、今後の組合運営を考える中、比較的順調に世代交代が進んでいる一方で、後継者が組合制度を理解していないことが課題となっていた。そこで、組合制度への理解を深めることを目的に、全組合員と行政機関に参加を呼びかけ、多くの参加者が熱心に耳を傾けた。

講習会では、中小企業組合ハンドブックや定款を用いつつ、組合制度や会社との違い、運営・管理上のポイントについて説明が行われた。



多くの参加者が組合制度について学んだ

## カラフルな温泉マークが温泉街を彩る

磯部観光温泉旅館(協)

温泉マーク発祥の地である磯部温泉では、現在カラフルなネオンで型どった光る温泉マークが温泉街を彩っている。

JR磯部駅周辺や温泉街近辺の建物等約20か所に設置しており、観光客の目を楽しませている。この企画は、「日本の温泉文化」が国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産へ登録されるよう、機運を醸成するために始めたもの。

来年3月まで、19時半から22時半の時間帯に点灯している。



撮影スポットにもなっている色とりどりのネオン